

「返子市立図書館のサービス目標 2018（案）」に関するパブリックコメントの実施結果

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

パブリックコメントの実施結果

1 実施期間：平成29年12月11日（月）から平成30年1月15日（月）まで

2 意見の提出件数：27件

3 意見提出人数：4人（持参1人、FAX1人、メール2人）

4 意見内容の概要

区 分	件 数
はじめに	2
図書館の現状と課題	9
これからのサービス計画と目標	6
図書館のサービス目標の計画期間	0
参考資料	1
その他	9
合計	27

5 市の対応区分

記号	対 応 区 分	件 数
○	意見を反映し、修正したもの	3
□	意見の趣旨や考え方が既に盛り込まれているもの	7
■	意見は反映させないが、今後事業実施の際に参考とするもの	11
▲	基本計画と無関係なため、参考意見とするもの	4
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	2
	合計	27

提出された意見及びその採否

提出された意見とその対応は以下のとおりです。一部要約や分割をしていますので、ご了承ください。

No	関連する項目	意見の概要	該当の頁	対応区分	採否の理由	件数
1	はじめに	図書館の位置づけが分かるように、「生涯学習における中核的な社会教育施設であること」、「市民の学習活動を支援するため、市民にとって、「知の拠点」となることを目標とする。」といった内容を入れるべき。	—	○	ご意見のとおり、図書館の位置づけに関する内容と「知の拠点」について、追加記載します。	1

2	はじめに	「サービス目標2011」の根拠、策定者、策定経緯及び市民周知を示し、このことを踏まえたうえで「サービス目標2018」を提示してもらいたい。また、これからのサービス計画と目標の表現を改めるべきではないか。	—	□	平成17年4月に現在の図書館が開館し、その後にサービスの質の問題や電子情報化を中心とした時代の変化に対応するといった問題が生じてきたため、開館して5年が経過した段階で、逗子市立図書館がこれまでの図書館サービスを見直し、さらにこれから先の5年間についてどう考えるかを検討し、その検討結果を事務局案としてまとめ、図書館協議会の意見を聴き、教育委員会の上承のもと「逗子市立図書館のサービス目標2011」として平成23年1月に公表したものです。 《はじめに》の下段に記載のとおり、「サービス目標2011」の現状と課題を踏まえ、これからのサービス計画と目標として「サービス目標2018」を策定するものです。	1
3	図書館の現状と課題	図書館の現状と課題の下段部分の「サービス目標2011では、「これからのサービス計画」として次の7項目を掲げています。」とあるが、「8項目」ではないか。	P1	○	ご指摘のとおり記載の誤りです。8項目に修正します。	1
4	図書館の現状と課題	「雑誌を少しずつ減らす方向で進めています。」という考え方は改めてもらいたい。雑誌の要望に対応しない理由と「使い捨て時代」といった軽視する根拠は。また、購入要望が多い雑誌のリクエストは積極的に対応し、必要性を判断し新たな蔵書も加えて欲しい。	P2	■	雑誌については、最新の情報が得られ、市民の日常生活に役立つものであり、購入要望も多くあることから軽視する考えはありません。しかし、雑誌は、1回みの購入にとどまらず、継続的に購入する必要があり、1タイトル当たりの年間購入費用や保管するためのスペースの確保が必要です。限られた予算・スペースの中で、多種多様な市民サービスを展開していくために	1

					は、2ページ②雑誌の項目に述べたとおり、今後も必要な雑誌は、購入し、新規購入については、その必要性を判断しながら収集し提供していきます。	
5	図書館の現状と課題	図書館の現状と課題の1の(2)資料の保存と廃棄の項目で、「貴重な資料や郷土関係資料等について信頼できる蔵書群を早急に構築する必要があります。」とあるが、既に所蔵数が収容能力を超えていることから、「早急に」ではなく、保存計画をたてるプロジェクトの開始時期を明記してほしい。	P4	■	現在、郷土関係資料に関する収集方針の策定に向けて準備を進めており、平成30年度から長期的な保存計画の作成に取り組みます。保存計画の策定までに要する期間は3年以内を目途としています。	1
6	図書館の現状と課題	「ヤングアダルトコーナー」の利用拡大のため、中高生が足を運びたいようなサロンの要素を加えたい。	P6	■	ヤングアダルト世代へのサービスは、当該サービス目標とともに18歳までの子どもを対象とした「逗子市子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、その推進に取り組んでいます。 サロンの要素を加えたいとのご提案ですが、オープンスペースの確保や音の問題もあり、中学生・高校生がグループで会話ができるような館内での場所の確保は困難な状況といえます。	1
7	図書館の現状と課題	図書館の現状と課題の2の(3) 成人へのサービスの項目で、「潜在的利用者に対する・・・調査研究が必要」とあるが、具体的にどのような調査を考えているか。市民参加による調査は可能か。	P6	■	潜在的利用者については、市民参加による調査を行うことも考えられますが、まずは利用状況で明らかとなっている利用率の低い地域において、既存施設を活用した読書推進が可能かを関係所管と協議すること	1

					から始めるとともに、図書館長の諮問機関である「逗子市立図書館協議会」に意見を聴き、利用の拡大に努めていきます。	
8	図書館の現状と課題	図書館の現状と課題の2の(4) シニア(高齢者)へのサービスについて、「公平なサービス提供・・・」とあるが、高齢者には最大限のサービスを惜しまないという目標を掲げられないのか。シニア(高齢者)へのサービスについて、積極的に取り組んで欲しい。 移動図書館車の高齢者施設への巡回を実施している図書館もあると聞かすが、サロンや施設への巡回などが考えられないか。	P7	■	当該サービス目標は、高齢者だけでなく、全ての世代を対象に偏ることのない公平なサービスを提供することを前提としたものであり、これからのサービス計画と目標として掲げた5項目の実現に向け取り組むものです。 まずは実態把握に努めるとともに関係所管と協議を進め、団体貸出等の提供の可能性を探ります。	2
9	図書館の現状と課題	健康・医療情報コーナー」の資料の並び方が分かりづらいので、コーナー全体の見取り図があると探しやすい。	P9	□	資料の並び方については、エフセル仕切板を使用して症状等を明記するなど、資料が探しやすいように改良を重ねています。今後も、利用者の皆さんが、必要とする資料を手に取りやすいように改善していきます。また、コーナー全体の見取り図については、症状別の配架図を作成して掲示してありますので、ご活用ください。	1
10	図書館の現状と課題	リサイクル本の提供について、小中学生を優先した上で、市内の子ども関連施設に提供したらどうか。また、子どもたちの学校以外の居場所作り	P13	□	リサイクル本の提供先については、市内公立小学校・中学校を優先とした上で、すでに保育園、子育て関連施設、自治会館等に提供しており、今後も子	1

		も充実していくことを望む。			どもたちの居場所づくりに貢献できるよう、リサイクル本の提供を進めていきます。	
11	これからのサービス計画と目標	図書館の現状と課題の8 市民とともに歩む図書館のボランティア活動について、もう少し具体的に提示すべき。また、受け入れが進んでいないなら、今後どのような対策を考えているのか。ボランティア養成のプログラムは考えないのか。	P15	■	<p>図書館のボランティア活動については、市民がより積極的に図書館活動に参画し、活力ある図書館を築くためには必要と考えます。現在は、既存のボランティア団体のご協力により、児童サービスを積極的に展開しています。今後、図書館でボランティアをどのような形で受け入れていくのが望ましいのか、図書館長の諮問機関である「逗子市立図書館協議会」に意見を聴き、より良い市民協働体制を構築していきます。</p> <p>なお、ボランティアの養成については、読み聞かせボランティアのための養成講座をすでに実施しています。</p>	1
12	これからのサービス計画と目標	シニアサービス、病院サービス及び外国語を母国語とする人へのサービス等は、専門的な知識を持たずともボランティアによるサポートが可能などことはある。市民とともに歩むなら、具体的にどこでどんな歩みができるのか模索すべき。	P15	■	まずは実態把握に努めるとともに関係所管と協議を進め、団体貸出等の提供の可能性を探ります。	1
13	これからのサービス計画と	これからのサービス計画と目標の 1 読書の喜びを育み、豊かな情報源(情報発信基地)としての図書館の項目中「市民を育てることができる図書館・・・」は「市民が育つ・・・」ではないか。「育て	P16	○	ご指摘のとおり、「市民が育つ」に修正します。	1

	目標	る」なら主語は誰になるのか。				
14	これからのサービス計画と目標	これからのサービス計画と目標の「2 地域の文化を大切にする図書館」の項目1行目に「自分が育ったまちの歴史を理解し、文化を大切に・・・」とあるが、転入者も多いので「逗子のまちの歴史を理解、想像し、文化を大切に・・・」の方が良いのでは。	P18	<input type="checkbox"/>	「自分が育ったまち」の表現は、逗子で生まれ育った逗子市民はもちろんのこと、転入された方も逗子市民であることに誇りを持ってもらいたいとの考えで表現をしたものです。	1
15	これからのサービス計画と目標	各地域で高齢者を中心としたサロン活動が行われ、体操や保健師からの健康に関する話等の情報交換をしているが、学校支援パックのように、サロン向けの本を貸出できれば、図書館まで出向けない方の解消につながるのでは。	P20	<input checked="" type="checkbox"/>	当該サービス目標は、高齢者をはじめ多様な利用者のために関係機関や団体と連携を図りながら、図書館サービスの提供を目指しています。 まずは実態把握に努めるとともに関係所管と協議を進め、団体貸出の提供の可能性を探ります。	1
16	これからのサービス計画と目標	これからのサービス計画と目標の 6 進行管理の項目中「自ら評価を行とともに図書館協議会に報告し・・・」とあるが、図書館協議会は報告を受けるだけでなく評価できないのか。図書館協議会以外にも、第三者の評価委員会や市民アンケート、市民の意見を直接聞くような機会を作るべき。 評価については、進行管理の項目に入れるのではなく、図書館評価として扱えないか。	P22	<input type="checkbox"/>	図書館協議会は図書館法第14条に基づき設置された審議会であり、図書館長に対して意見を述べる機関と規定しています。また、住民意思が反映できるよう、逗子市立図書館協議会条例第3条(委員の任命基準)の中で「市民」の任命を規定しています。 このように、当該サービス目標の進行管理として、図書館が自ら評価した結果を図書館協議会に報告するとともに評価をいただく場にもなっています。また、図書館協議会には市民委員も任命されていますが、図書館協議会の審議だけではなく、様々な場で意見を	1

					<p>聴く機会を検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、図書館評価として扱えないかとのことですが、進行管理のPDCAの一項目として捉えています。</p>	
17	参考資料	<p>逗子市の概要の 4 人口・世帯数等の中で、老年人口の比率だけではなく、未成年の人口比率や市内高等学校の生徒数も記載してほしい。</p> <p>これからのサービス計画と目標の「3 子どもの読書を応援する図書館」の中に子どもの人口数等が入ればもっと良い。</p>	P24	<input type="checkbox"/>	<p>参考資料については、当該サービス目標を作る際の参考資料として、逗子市の概要を記載したものです。また、0歳から18歳までの子どもの読書活動については、参考資料に記載のとおり、「第二次 逗子市子どもの読書活動推進計画」において推進していきます。そのため、サービス目標には、子どもの人口数等の統計は記載しておりません。</p>	1
18	その他	<p>市が財政難を理由に、図書館に関わる環境や文化の創造活動を狭めることがないように、地域の文化活動の拠点としての図書館の位置づけを確立してほしい。</p>	—	<input type="checkbox"/>	<p>ご意見のとおり、これからのサービス計画と目標として掲げた5項目の中で「文化活動の拠点としての図書館」の実現に向けた具体的な明示はしていません。</p> <p>図書館は、市民の自主的な文化活動を行うための資料や情報を提供し、学習しやすい環境を整備します。また、伝統文化が失われることのないように未来へ伝え、残していくために資料を収集し保存して提供できるように努めていきます。</p> <p>「これからのサービス計画と目標」に掲げた「2 地域の文化を大切にする図書館」を含めた5項目全てが連動した取り組みにより、地域の文化活動の拠点としての図書館が確立するものと考えています。</p>	1

19	その他	図書館の開館時間について、可能な限り夜間も開館して欲しい。機械的な一律の開館時間への変更は撤回して欲しい。	—	▲	休館日、開館時間の変更については、市の緊急財政対策として図書館に限らず、さまざまな公共施設での取り組みを予定しているものであり、今回の対応は緊急措置として実施するものです。	2
20	その他	一目で図書館が目指している目標が分かるように、タイトルの副題として「～共に学び、共に育つ『共育(きょういく)』のまち～」といった言葉を追加できないか。	—	■	当該サービス目標は、学校教育や生涯学習、社会教育に係る個別計画との整合性を考慮し、市民の自主的な学習を支援する施設として、また、地域の情報拠点として、総合計画基本構想の5本の柱の一つである「共に学び、共に育つ『共育(きょういく)』のまち」の実現を目指すとともに、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として基本理念、基本方針を示した「教育大綱」の実現も推進しています。 現状ではタイトルに副題を付ける考えはありません。	1
21	その他	「逗子市立図書館のサービス目標2018」について、図書館職員一人ひとりが認識して市民サービスに努めて欲しい。	—	◆	要望として承ります。	1
22	その他	図書館協議会の委員としての任務を果たしてほしい。また、委員報酬の金額を知りたい。	—	▲	参考意見として承ります。	1

23	その他	逗子市の財政がひっ迫している中、ファンドの導入はできないか。	—	◆	逗子市では、平成 27 年度からまちづくりを応援したいという趣旨の個人又は団体からの寄附金を積み立て、魅力的なまちづくりの推進に資するため、逗子市ふるさと基金を設置しました。その寄附金の使い道のひとつとして、「逗子市立図書館を応援！」する目的で有効活用しています。	1
24	その他	逗子市立図書館のサービス目標2018を実現するには、責任をもって担う正規職員の増員は必須だが、市の大変厳しい財政状況の中、市議会での予算が決定する前の段階で、パブリックコメントを実施しても無駄になってしまう。せめて、数か月パブリックコメントの実施を遅らせて、どこまで実現可能か、見極められるところで市民意見を聴いてほしかった。	—	■	ご意見のとおり、当該サービス目標の実効性と予算の決定は連動する部分があることは言うまでもありませんが、目標があるから予算確保の根拠となる側面もあり、目指すべき方向性を示すことも目標策定に向け必要なことと考えています。 皆さんの意見を踏まえ実行性のある目標としていきます。	1
25	その他	タイトルとして「逗子市立図書館サービス目標2018」となっているが、内容から考えると、計画ではあっても目標ではない。「サービス計画2018」とすべきである。	—	▲	《はじめに》の下段に記載のとおり、「サービス目標2011」に基づき、現状と課題を踏まえた上で、これからのサービス計画と目標として「サービス目標2018」を策定するものです。	1